



学ばーよ(2年生)!!

あいことば上宇部 2025 NO-27 でもご紹介した「学ばーよ」を、先週末、2年生で実施しました。「学ばーよ」は、学校で行っている通常の授業に、地域の方がひとりの学習者として参加し、子どもたちとともに学ぶ……という「大人の学び」です。この活動のために、授業者が特別な準備を行う必要はなく、シンプルに実施できることも特徴です。

この「学ばーよ」には、主たる目的として、以下の2つがあります。

- ①地域の方の生涯学習を、学校という場で実現すること
- ②子どもたちが地域の方と関わる中で、考えを広げたり社会性を身に付けたりする場をつくること



今回は、2年生の各クラスで道徳「おせちのひみつ」の授業を行い、子どもたちは地域の方とともに、おせち料理に込められた意味について考えました(上写真)。カードやタブレットを使ったパズル形式の授業で、4～6人のグループに分かれ、意見を出し合いながら予想を立てる活動です。

「黒豆は『まめに働いて過ごせるように』」「エビは『腰が曲がるまで長生きできるように』」など、意味を確認していくと、子どもたちからは「へ～!」という興味津々の声が上がりました。地域の方からも、「そういえばそうだったね」と思い出す場面が見られ、日本の文化をあらためて振り返る時間にもなりました。

右写真は、授業前に地域の方が校長室に集まった時の様子です。ここではさまざまな会話が弾み、ちょっとした憩いの場のようになっていました。学校は、地域の方にとっても大切な“居場所”でありたいと考えています。

